



人と支え合い紡ぐ温かな日々

八木 健次さん やぎ けんじ さん

昭和15年 86歳 大阪府生まれ
旭町在住

温故知新

#568

「友達は宝物」そう話すのは、人とのつながりや日常のおしゃべりを何よりの楽しみとしている八木健次さんです。

八木さんは、昭和15年1月10日に大阪府で生まれ、6歳の時に両親とともに津別町の山奥にある双葉地区へ開拓者として入植しました。双葉ではカボチャやじゃがいもなどの畑作に汗を流しながら育ち、20歳頃からは本岐地区へと拠点を移し、約20年にわたり造材などの厳しい山仕事に励みました。冬場は千葉県などへ出稼ぎに向かう日々を重ねるなか、出稼ぎ先の食堂で出会った奥様と2年越しの想いを果たしてご結婚。その後、山仕事での事故による怪我をきっかけに45歳頃からは土木の世界へ身を転じ、約15年にわたり地域の現場を支え続けました。

八木さんの人柄を物語るのが、ご家族への思いやりと先進的な姿勢です。「共働

きで互いに大変だから妻だけに負担はかけられない」と、当時の古い固定観念にとらわれることなく、毎日の食事作りを進んで担当。出汁を効かせた味噌汁や得意のカツ丼、カレーなどで温かく家庭を支え、晩年は腰を痛めた奥様を5年間にわたって手厚く介護し、最期まで寄り添い続けました。奥様を看取られた後も日々の自炊を欠かさず、チラシで特売品を確かめて買い出しへ向かうなど、整然とした一人暮らしを継続されています。

休日の過ごし方では、「第二の妻」と呼ぶほど大切にされてきた愛車で道内各地を巡るドライブを楽しんでいましたが、目の病気の影響もあり、9月末で車を手放すことを決意。これからは地域の人々や友人たちとの交流を何よりも大切にしながら、穏やかで充実した日々を過ごしていきたいと笑顔で話してくれました。

青春 くろーずあっぷ

今年の8月から「奥屈斜路温泉ランプの宿森つべつ」のフロント担当として働くKHIN THANT ZINさん。

外国客への英語でのチェックイン対応をはじめ、日帰り入浴の受入案内や売店商品の補充・陳列、ロビーや館内の清掃など、お客様が快適で豊かな時間を過ごせるようサポートをしています。

ミャンマー出身。「人と接するサービスの仕事に携わり、日本のおもてなしを現場で学びたい」という強い夢を持ち、日本語学校での勉強を重ねて日本語能力試験N3を取得。接客好きが高じて宿泊分野の特定技能評価試験にも合格し、現地の人材送り出し機関を通じて16名の応募者の中から選ばれた。

「最初は覚えることが多かったものの、2ヶ月が経ち環境にも徐々に慣れてきました。いろいろな人とコミュニケーションを取りながら、ずっと興味のある接客の仕事ができていくことに大きなやりがいを感じています」と話してくれました。

休日には部屋の掃除や自炊をこなし、動画鑑賞などインドアでゆっくり羽を伸ばすことが多いそう。一方で、「実はカフェ巡りや新しい場所へ出かけて写真を撮ること、美味しいものを食べるのが大好きです」とこれからの日本生活にも胸を躍らせています。



地域とつながる喜びを活力に

KHIN THANT ZINさん キン・タン・ジン さん

令和8年入職 ミャンマー出身
奥屈斜路温泉ランプの宿森つべつ勤務

知温 新故

掲載候補者募集中！

いつも「温故知新」をご愛読いただきありがとうございます。
「温故知新」では長く人生を歩まれている方の人物紹介をしております。

取材が可能な方に、お心当たりがある方は
お気軽に右記連絡先までご連絡ください。

電話番号：76-8374（企画係直通）
FAX：76-2976
メールアドレス：town.tsubetsu@gmail.com

問い合わせ先
税務収納係 10番窓口
☎77-8376

生命保険料控除は、「旧生命保険料」「旧個人年金保険料」「新生命保険料」「新個人年金保険料」「介護医療保険料※」（※町に納めていただいている介護保険料ではありません。証明書の内容をよくご確認の上お取り扱ってください。

生命保険に加入していると、保険会社から毎年一回、「生命保険料控除証明書」が送られてきます。これは、その年のうちに保険会社に支払っている生命保険の掛け金の総額（見込）が記載されており、所得税の精算に必要となるものです。

暮らしを支える
税 生命保険料控除証明書について

タウンニュース Town News Tsubetsu つべつ

第115回

Webでも公開中！
町のHPより
ご確認くださいませ！

津別町農業の救世主！？ 農業アルバイト最前線！

人口減少と高齢化が進む北海道津別町。基幹産業である農業でも人手不足が深刻化しています。こうした課題に対応するため、JAつべつでは2017年に「津別町農業労働力支援協議会」を設立。農業求人サイトや大学、企業などと連携し、全国から農業アルバイトを受け入れ、今では30人程が現場で働いています。春の植え付けと秋の収穫まで、農作業を支えるのは、全国各地を旅しながら働く人々。



その自由なライフスタイルとは？人気の秘密の一つが宿舎になっている町内の宿泊施設「北海道でこいランド」。そこには管理する町民たちと、旅人との温かな交流がありました。生産者と旅人たちが共に汗を流し、新たなつながりを育む津別町。人口が減り続ける町に生まれた新しい人の流れから、津別町の未来を探ります。

毎月末日
ごろ更新

取材希望企業・飲食店・生産者募集！！
詳しくは役場住民企画課まで

問い合わせ先
住民企画課 企画係 14-1 番窓口
☎77-8374

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおい、北見信用金庫津別支店、網走信用金庫津別支店に設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。